

おかやまけんしゃかいふくし



岡山県社会福祉



▲社会福祉法人の公益的な取組レポート

特集
インタビュー

誰もが家族や周囲の方をケアする “一億総ケアラー社会”を見据えて！

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート	4
県社協ニュース	6
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12

社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
URL : <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook : <https://facebook.com/fukushiokayama/>

はじめました *Follow Me!*
Instagram @okayamakensyakyo



岡山県社会福祉協議会創立70周年



誰もが家族や周囲の方をケアする 「億総ケアラー社会」を見据えて！

2021年流行語にノミネートされた「ヤングケアラー」。ヤングケアラーとは、家族の身体的・情緒的ケアを行っている18歳未満の子どもたちのことで、国の統計では中学生の約17人に1人いると言われています。今号では元ヤングケアラーで現在もケアラーの冠野真弓さんに当時のことや現在の活動についてお話をお伺いしました。



「ヤングケアラーになった当時のことを教えてください。」

9歳の時、それまでは「主婦の鏡」と言われていた母が突然、統合失調症になりました。当時は精神分裂病と呼ばれていて、家族も隠そうとしていたため、事態がよく分からず、子どもながらなんとなく察していききました。一番大変な時の記憶は抜けているところもあるのですが、毎日、学校から帰ってくる時に玄関のドアノブに手をかけて、「ここまでは悪夢。開ければきつと大丈夫。」と自分に言い聞かせては、開けてがっかり、を繰り返していました。ただ、そんな中で、幻聴で怯えている母に対し、母が元気がだった時に自分がしてもらっていたように、母を膝にのせて背中をぽんぽん、とすることで安心する母を見て、「私、すごい。上手にできた。」という成功体験がありました。そこに希望を見出せたからこそやってこれたと思います。自分も家族も安全に暮らすために、「どうやったらお母さんが落ち着くか」に焦点を当てて暮らすようになりました。

「大変な中での気づき。」

母は私を自分の子だと認識していない時もあつたけれど、症状が落ち着いて、母とまた「おはよう」と言い合えた時に幸せを感じました。周りにとって当たり前のことが自分にとっては幸せ。何気ないことに幸せを感じることができるといことは、人より幸せの数が増えたということかな、と思っています。

「ターニングポイントは。」

私は小中高の10年間、家族のことを誰にも話せませんでした。ちょうど「うつ病」という言葉を聞くようになった頃で、姉や父も精神的に不安定になっていった時期でした。世間では精神科通院歴のある方が起こした事件も報道されるのだろうと思い、周りのどんな扱いをされるのだろうと思い、家族のことは誰にも話せませんでした。

話せるようになったのは、看護師になるために大学へ進学してからです。そこから人生が好転していったように思います。自分の深いところ

ろを開示することで相手も深いところを開示してくれ、人と深く関わることができるようになりました。もう少し早く話せていれば、と思われれる人もいるかもしれませんが、人に伝えるための言語化する力や受け止めてくれる相手の力を考えると、自分にとっては必要な時間だったと思っています。

—活動を始めたきっかけは。

三年前に学会で「ヤングケアラー」という言葉と出会いました。自分の性格だと思っていたことがヤングケアラーの特徴だと分かってびっくり。もつと知りたいと思い、すぐにたくさん同じ経験をしてきた人とながりました。その人たちと関わる中で、私のこの経験は何かに生かせるのではないかと感じました。ヤングケアラーの中には、家のことを重く握りしめて、自分自身も体調不良になる人も多くいます。一方、私はこのことがあったからこそケアを学びたいと思い、看護師を選択することができました。天職だと思っています。「家族の病気」、この経験を良いことに変える発想自体が珍しいようです。せっかく健康で生まれてきたのに、家族という環境で自分自身も患ってしまったのは悲しい連鎖です。精神疾患の家族はこんな困っている。けれど家族にしかできないケアが存在する。じゃあ家族が元気でいないと。だから、私はそこを元気にする関わりがしたい、と思いました。まずは語る場をつくろうと考えていたけど、そのタイミングでコロナ禍になりリアルに繋がることができない。たまたまイン스타그램を登録していたので、隔週でインス

タライブを始めることにしました。

—今後の活動内容は。

今年、「ラファイニングケアラー（笑っているケアラー）」の学校を作ろうと思っています。手持ちのカードでどうすれば幸せになれるか。家族のメンバーや起こった現象は変えられないけれど、その意味付けは後からいくらでも変えることができます。また、ヤングケアラーは自分を優先することに慣れていません。まずは、自分はどうしたいかを見つめる必要があります。自分で自分の機嫌をとれるように、何がしたいか、何を食べたいかということから向き合うように意識しています。

あとは、「ケアラーのすべらない話」（笑）。自分の日常にネタ探しの視点を加える。何かハプニングが起きた時に、「またか」と思うより、「ネタが一つ増えた。このあとどうなる？」と思えるのと、同じ状況に置かれても印象が変わってきます。そういう自分ひとりでは気づきにくいことをお互いにプラスに変える場になれば、と思っています。

*ラファイニングケアラーの学校の開校に先駆けて、**ラファイニングケアラーフェスティバル**開催決定。
令和4年2月22日〜3月3日まで。詳しくは文末のFBページをご確認ください。

—最後に、読者に向けて、メッセージをお願いします。

ヤングケアラーにとって知っていてくれる大人がいるだけで救いになります。ただし、周

りに気になる子がいた場合、話の聞き方には注意してほしいと思います。あなたに話したいかどうかはその子が決めます。いつでも、どうぞの姿勢だけで充分です。また、話してくれた時も今日は聴くだけでいいか、具体的な相談につないだ方が良いか、相手に聴いてください。その子、その家庭で心地よい距離感は違うので、本人に確認するという視点を持つてほしいと思います。

また、今は他人ごとでも親・配偶者・兄弟・子どもなどいざれケアラーは通る道です。他人ごとではなく、「一億総ケアラー社会」です。ちよつと先に家族のケアを経験した私たちと一緒に皆が安心できる社会を作っていきましょう。そして、にもかかわらず、一緒に笑いましょう。

Profile



ヤングケアラー K &

代表 **冠野 真弓** さん
(看護師・保健師)

『ヤングケアラー K &』
<http://concertmasterjp.wixsite.com/website>
Instagram: y.c.k2
『ラファイニングケアラーの学校』
Facebook: <https://m.facebook.com/kao.kichi.kan.kumi.ton>

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～ 地域共生社会の実現に向けて! ～



社会福祉法人 天神会 ～地域の人とつながる「出前講座」～



地域に出向いて講座を実施しています。

社会福祉法人天神会は、「お
かやま☆フクシ・カイゴ職場
すまいる宣言」制度(※)にお
いて、令和2年度に認証され
ました。認証基準には、公益
的な取組についても含まれて
おり、天神会はより進んだ取
組を行っているとして、認証
されています。

天神会では、認証を受ける
前からさまざまな公益的な取
組を行っており、今回は、中
でも地域のニーズにこたえる
「出前講座」について、職員の
皆さんにお話しを伺いました。

※岡山県内の福祉・介護事業所が、
人材育成や就業環境の改善など、
働きやすい職場環境づくりに積
極的に取り組む事業所であるこ
とを登録し、その取組内容を見
える化する制度。

取り組みを始めた きっかけ

天神会の法人理念・経営方針に
基づき、地域住民参加の支えあい
体制づくりを推進する地域連携部
会が発足されました。その地域連
携部会の中で、「高齢者の社会参
加と介護予防の推進」と「地域住
民参加の支えあい体制の構築」を
図るといふ方針になり、その取り
掛かりとして、まずは転倒予防の
啓発を行うていくことになりました。

転倒予防に着目した理由は、高
齢者の4人に1人が転倒・転落の
経験があり、さらに転倒後に骨折
をしてしまうと治癒した後も本人
の自立が著しく低下するというデ
ータがあります。そのため、転倒
しないための知識を身につけるこ
とが、介護予防にもつながると考
え、その手段として講座を実施す
ることとなりました。

いざ地域に出向いて、転倒予防
のテーマで講座をしようと思った
のですが、法人としてどのような
周知するか、開催場所をどうする
のか不明瞭でした。そこで、笠岡
市社会福祉協議会に相談したとこ

ろ、笠岡市が実施している「まち
づくり出前講座」を紹介してもら
いました。平成29年に登録をさせ
てもらい、地域住民の方の依頼を
受け、地域に出向いて講座を実施
するようになりました。

「出前講座」の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影
響で、現在は出前講座の実施はで
きていませんが、以前は主に、笠
岡市内の地域サロン活動を行って
いる団体からの依頼が多く、年間
17回講座を実施させていただいて
おりました。

また最初は、転倒予防講座のみ
でしたが、地域住民の方から「他
の内容の講座はないの?」という
声があり、テーマを増やし、現在
は主に6つのテーマで実施してい
ます。テーマについては、可能な
限り地域住民の方の要望の多いも
のを取り上げるようにしています。
講座の内容によつては、天神会の
リハビリ職や看護職・介護職など
の専門職員がそれぞれの専門知識
を活かして講座を実施しているの
で、地域住民の方のニーズに沿っ
た内容の講座を実施することがで

きています。

今後の「出前講座」

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができていませんが、今後も形を変えて実施をしていきたいと考えています。ただ、職員が地域に向いて講座をするということは、感染のリスクがあります。日々施設の利用者と接する職員が、施設にウイルスを持ち込まないためにも、地域に向か

天神会では、今回紹介した「出前講座」以外にも、フードバンク&フードドライブの取組やおかやまアダプト事業に参加し、職員有志で清掃美化活動を行っています。

また、この他にも、法人内の各施設で地域貢献の活動にも取り組んでいます。例えば、コロナ禍以前は、地域の方に施設に来てもらい、利用者との交流会を行ったり、法人内の交流スペースを利用して、地域のお子さんがピアノの発表会を行ったりとさまざまなイベントを実施しています。今後とも地域に開かれた法人を目指していきます。

なくてもできる方法を考えていく必要があると思います。

「出前講座」の対象者が主に高齢者の方になりますので、単にオンラインを使用しても実施をしても参加をすることが難しいという方も多いのではないかと思います。

現在、ケーブルテレビ局やラジオからコーナーとして講座を実施してほしいという依頼も来ているので、今後実施の方法について模索していきます。



認知症や介護のコツなど、豊富なメニューを準備しています。

お問い合わせ先

社会福祉法人天神会

〒10865167 東京都神田区神田3-6-28-116
TEL: 03-6516-7412

令和3年度

全国200万人
加入!!

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



① ボランティア・福祉教育 担当者会議・研修レポート

② 「令和3年度 生活困窮者自立 支援事業関係機関研修会」から “視、えてきたこと”



1 「対話型」の福祉教育へ ボランティア・福祉教育担当者会議・研修レポート

行き詰まった福祉教育をときほぐしていくには、どうしたらいいだろうか。今年度は、そんな想いを出発点に、「出前福祉講座の改善」を重点テーマとして、8月31日と11月10日に、ボランティア・福祉教育担当者会議・研修を開催しました。そこから見えてきた、福祉教育の課題と今後の展望についてお伝えします。

事前に担当者に対して実施した出前福祉講座についてのアンケートでは、「体験が手段ではなく目的となつている」「講座が参加者にどれほど影響を与えているのか分からない」など、社協職員が講座の成果に手応えを感じられていない状況が分かりました。議論を続ける中で、分かってきた課題は大きく以下の2点です。

- ・社協で実施している出前福祉講座は、学びの機会を提供している社協側が「答え」を用意しているため、講座を受けることで、子どもたちの学びが止まってしまうこと。
- ・用意している答えは、町で障害者や高齢者を見かけたら、手助けをしよう、思いやりを持つと

といった曖昧なもので、障がい者や高齢者の持つ力に注目したり、社会の環境改善に目を向ける機会になつていないこと。議論を通して、その原因は次の3点にあると考えました。

1つ目は、「伝達型」の講座設計です。学校現場では、学習指導要領が改訂され、問いを立てて気づきを引き出す「対話型」の学習に転換をはじめられています。しかし、社協は体験ありきの「伝達型」のまま、価値あるプログラムを提供できていないこと。2つ目は、社協職員が、講座の最後に「まとめ」をしなければならぬという考えに強く縛られていること。3つ目は、扱っているテーマも「高齢者」「身体障害者」「視覚障害者」など、子どもにとつて身近なものではないことです。

これを踏まえて、解決策としての提案は、「対話型」の福祉教育への転換です。

- ・子どもたちに提供するものは、「問い」であり、多様な考えを引き出すことがゴールであり、社協がこうした考え方を意識して臨むこと。



11月10日の研修の様子(オンライン)

例えば、発達障害のある生徒はどの学校にもいる。学校内の友達とのやりとりなど、子どもたちに身近なテーマを増やしていくこと。

- ・社協は、知識を伝えるゲストティーチャーではなく、気づきを促す「ファシリテーター」の役割を担うこと。

こうした「対話型」の福祉教育は、その場で解決策を提示しないことで、子どもたちの中に疑問を残し、次の探求につながるきっかけを提供できると考えます。すでに実践も始まっています。引き続き、市町村社協の皆さんと取り組んでいきたいと考えています。



2

「コロナ禍で顕在化した新しいニーズに対する生活困窮者支援について考える」から「視」えてきたこと

突然ですが、みなさんは、コロナ禍でどのような方が生活に困りかご存知でしょうか？

岡山県では、社会福祉協議会が行う新型コロナウイルス感染症特例貸付の件数が、延べ約5万6000件、貸付総額は約210億円を超え（令和3年10月末時点）、障害者や高齢者の方のみならず、自営業やシングルマザー、外国人の方々などが抱えるお困りごとへの支援が急務となっています。



参加者に熱く語りかける講師・発表者

本会では、令和3年12月15日に生活困窮者支援に携わる関係機関（市町村社協や行政、NPO法人、社会福祉法人、企業等）約80名が一堂に会し、各機関の強みや、今後の生活困窮者支援における連携のあり方について課題共有・意見交換を行いました。

プログラムとしては、本会から新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金貸付制度「緊急小口資金等特例貸付」の県内状況について報告後、第一線で活躍されている2団体（倉敷市生活自立相談支援センターめやす箱センター長 池田朋宏さん（左写真・右側）・一時生活支援事業等を行うNPO法人神戸の冬を支える会理事 齋本郁さん（左写真・左側））からの課題提起と参加者同士のグループワークを行いました。

また、全体コーディネーターとして、美作大学 社会福祉学科 准教授 武田英樹氏（右上写真）をお招きし、外国人支援や、居住支援等のポイントについて解説いただきました。

池田さん・齋本さんからは、外国人のビザ更新手続き等、就労支



積極的に意見交換を行う参加者の様子

援の様子や、20代で野宿生活をする方の相談が増えたこと等をお話いただき、多様化する支援のためには、スクールソーシャルワーカーや、商工会議所等、新たな関係機関とのつながりを創っていく重要性が改めて視えてきました。参加者からも、「一つひとつのお困りごとを丁寧にお聴きし、丸投げでなく、「つながり」ことが大切。」との意見がありました。これからも、県域での官民を超えた多職種連携に向けて、研修等の企画を行っていきます。

2022年4月生願書受付中!(最終締切 2022年3月11日)

社会福祉学科 通信課程
一般養成課程(1年6ヶ月コース) 一般養成課程(1年コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程
一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

オンライン進学説明会のご案内
現地進学説明会と併せてWebex(ビデオ会議システム)によるオンライン進学説明会を行っています。

教育訓練給付制度対象講座
詳しくはQRコードからHPをご覧ください。
好きな極めてプロになる
学校法人穴吹学園 穴吹パティシエ福祉カレッジ
〒760-0020 高松市錦町1-22-23
TEL.087-873-2455



◆ N T T西日本岡山支店様より寄贈いただいた災害備蓄食品を生活困窮者支援へ活用しました



NTT西日本岡山支店様より、令和3年5月から4回にわたり、災害用備蓄食品（アルファ米・缶詰）を、約12,400食ご寄贈いただきました。



賞味期限を迎えてしまう災害備蓄食品を広く県内の地域の皆さんに、有効活用してもらいたいとのご相談をう

け、本会では県内の市町村社協等を通じて、生活に困難を抱える方たちの支援や災害支援訓練などの地域福祉活動に活用させていただきますました。

「地域でツクの一品に加えたい」、「高齢者の方にもこんなものがある」と紹介したい」などの声が聞かれました。



岡山市社協 災害ボランティア養成講座

善意の寄付が、地域でさらに大きな善意の輪として広がっていくことを期待します。

また、新見市社会福祉協議会では、令和3年12月に、生活に困難を抱える児童生徒をもつ世帯で希望した方へ、本寄贈食品やフードドライブ事業で集まった食品を箱詰めにした「ぴおーらBOX」を配布しました。

受け取った方からは『家に食べ物がたくさんあると心が少し豊かになります。とてもうれしく思いました。』『皆様の善意が本当にありがたいと感謝しています。』といった声がありました。



新見市社協 / ぴおーらBOX

NTT西日本岡山支店様からは、今後も継続してご寄贈いただけるようお願いし出もいただいております、厚く感謝申し上げます。

本会では、寄贈や社会貢献活動を通じて、地域の福祉課題に対応する新たな取組を応援していくとともに、実践を推進しながら、地域の様々な関係団体等との協働・連携を生み出し、深めていくことへつなげていきたいと思っております。

◆ お問合せ先

地域福祉部 地域支援班

☎ 086-2226-2835

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

Q 役員選任には監事の同意が必要?

Q 監事は評議員会に出席する義務があるの?

Q 賞与引当金は必ずしなきゃだめなの?

悩み・疑問を一斉解決!

急な指導監査でも…

・慌てない
・困らない
・採めない



SCB社福サポート担当 いしはら



【学生の福祉職場アルバイト募集事業】 岡山県福祉人材センター



岡山県福祉人材センターでは、令和3年7月より、岡山県内の福祉施設・事業所等でのアルバイト募集をホームページに掲載し、福祉の仕事に関心を持つ学生等に福祉施設でのアルバイトを紹介しています。学生の皆さんに福祉への関心を高めていただくことやコミュニケーション能力の向上、福祉の職場の魅力や仕事内容を理解してもらう機会を提供することを目的としています。

これまでに(第1期)7月(第2期)9~10月に募集を行い、15名の学生から申込みがあり、事業所とマッチング調整をいたしました。第3期求人募集は1月より受付いたします。

各事業所において、学生と面接を行い、正式に採用決定となります。仕事の内容は、介護補助(飲みの物の準備、シーツ交換、食事支援)、環境整備(掃除)、軽作業の点検、作業補助など(週1~2回、平均2~8時間勤務)です。

採用された学生と施設長にお話を伺いました。

【学生の感想】

- ・ 学校生活や授業では体験できない、実際の施設でしか学べないこと、実態を学ぶことができず。
- ・ 大学の講義では学ぶことができない雰囲気や、社会福祉士の業務について知ることができ、とても勉強になります。
- ・ 自分が苦手なコミュニケーションについて、専門職の職員さんなどのように利用者の方とコミュニケーションをとっているのかなどとても参考になります。
- ・ 利用者の方に「次はいつくる?」と毎回言っていたら、私も楽しく通っています。卒業まで続けたいです。



くらげ就労継続支援B型事業所

施設長に学生の職場での様子、利用者さんとの交流について伺いました。

ました。

- ・ 利用者さんや職員の様子を観察し、次の行動に繋がられています。
- ・ 利用者さんとの交流を積極的に言い、分からないことはすぐに職員に尋ねてくれます。
- ・ 朝の朝礼までの自由時間、休憩時間には利用者さんから質問されるなど関心を集めており、フレンドリーな態度、目線で関わってくれています。



特別養護老人ホームきび庭瀬

事業所では、学生に専門職の仕事と職員と一緒に働ながら経験してもらえようアルバイトを募集しています。

本会では、多くの学生や保護者の方々に福祉の職場の魅力や仕事内容を理解していただけるよう関

係機関と連携し、福祉人材確保に向けて努めています。

岡山県福祉人材センターホームページでは、求職者や事業所の方向けに「福祉の就職総合フェア」や「仕事の悩み何でも相談」のご案内など最新情報を掲載しております。ぜひご利用ください。

働きやすい職場環境づくりを宣言し、岡山県に認証された「正しい宣言登録法人」の紹介、福祉人材の求人情報、福祉・介護業界の将来性や魅力などは、「おかやまフクシ・カイゴWEB」をご確認ください！

◆ご不明な点は、岡山県福祉人材センターまでご連絡をお願いします。
TEL 086-226-3507

詳細は下記ホームページをご覧ください。





◆ ニュースポーツ用具の貸出しについて

長寿社会推進センターでは、高齢者の健康・生きがいづくりの一环として、ニュースポーツ用具の無料貸出しを行っております。ニュースポーツは、子供から高齢者まで誰もが気軽に楽しめるスポーツとして考案されたもので、競技の従来のルールをアレンジしたものがあります。



↑カローリング (「カローリング」からヒントを得て誕生)



↑ディスコン (岡山県で誕生)

ルールが分かり易く、技術や経験がなくても楽しむことができ、施設や地域でのレクリエーション活動等にご利用いただいております。

- ・貸出対象 県内の施設・団体等
- ・貸出種目 12種目 (利用1回につき2種目以内)
- ・使用期間 2週間以内

※貸出用具や利用手続き等の詳細は本会ホームページをご覧ください。

◆ お問い合わせ先

地域福祉部 長寿社会推進センター
☎086-1226-128835



ソウェルクラブへようこそ!!

- 福利厚生センター (ソウェルクラブ) は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に厚生労働大臣から指定された唯一の法人です。個々の法人では成し得ない福利厚生事業を全国規模で共有化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、会員のニーズに応じた多種多様なサービスを提供しています。
- 岡山県社会福祉協議会では、同センターの岡山県事務局 (業務委託団体) として、地域に密着した会員のニーズに対応しています。



サービス内容

給付事業、健康管理サービス、各種講習会・海外研修の実施、レジャー・宿泊施設の割引、各種保険・ローン、クラブ・サークル活動助成、会員交流事業 (日帰り旅行や食事会等)

掛金

職員一人当たり毎年度1万円 ※原則常勤職員対象
職員一人当たり毎年度5千円 ※非常勤職員対象

お問合せ 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部・経営支援班 (福利厚生事業) TEL : 086-226-2827

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎0863-81-5634



特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社労士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!
メルマガはHPからお申し込みください。

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412
〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13



お車の共済のことなら!

西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料!
お気軽にご連絡下さい。



岡山県支部
〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL : 092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

赤い羽根共同募金

岡山県
共同募金会

今年も 歳末たすけあい運動 を実施しました！



新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにと、今年も全国一斉に歳末たすけあい運動を実施しました。

また、12月20日（月）には、岡山駅西口のひかりの広場（リットシティビル内）にて「NHK歳末たすけあい配分交付式」を開催し、第一次配分として福祉関係団体、障がい者福祉施設、（合計19施設・団体）に対し、総額346万円の配分決定通知書を交付しました。

あたたかい募金をお寄せいただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



12/1 NHK 歳末たすけあいオープニング



12/20 NHK 歳末たすけあい配分交付式

ありがとうメッセージ

～助成を受けた施設からのありがとうメッセージをご紹介します～

吉備の里たんぽぽ（吉備中央町）

〔利用者送迎のための車両整備事業〕

吉備の里たんぽぽ事業所（生活介護）を利用されている方々の送迎に長年利用させていただいた車両を更新することが出来ました。

新しい車両は乗り心地もよく、安全面への装備がされており、とても喜んでおります。大切に使用させていただきます。

善意をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。



障害者支援施設みさき福祉園（美咲町）

〔厨房冷蔵庫整備事業（2枚扉冷蔵庫）〕

この度は、厨房冷蔵庫整備事業に過分なるご寄付を頂きまして誠にありがとうございます。これもひとえに、当法人の活動をご理解頂いていることだと身に余る光栄に存じます。職員一同深く感謝いたしております。

改めて、社会福祉事業に全力で取り組んでいく所存でございますので、どうぞ今後もお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご寄付を賜りました皆様のご厚情に感謝申し上げます。皆様、誠にありがとうございました。





「子どもから学ぶ」ことを大切に
子どもの気持ちを
代弁していきたい。

児童養護施設玉島学園
臨床心理士
安達 洋助 さん

※児童養護施設とは、様々な理由により保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもが生活する施設です。

「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

高校生の頃、「自分とは何だろう」と言葉にできない心理面でのモヤモヤを感じていたところ、周りの人から臨床心理士について教えてもらい、大学・大学院で心理学を学びました。大学院生だった時に、指導教員から虐待を受けた子どもの心理相談を担当させてもらうことがあり、この出会いによって、子どもを対象とした仕事への関心が深まりました。

卒業後は中学校のスクールカウンセラーとして働き始めましたが、その後、大学の指導教員から児童養護施設の臨床心理士としての仕事を紹介され、玉島学園で働くようになりました。

現在の仕事の内容は？

ここでの仕事は6年目となります。子どもたちのカウンセリングが主な内容のため、子どもたちの下校に合わせて、勤務時間は午後から夜までの時間となっています。

4歳から16歳までの子どもたち全員を見ていますが、時間を決め定期的に面接しています。プレイセラピーと言って、遊びを通して子どもが自分の気持ちを表現できるようにすることで、言葉にづらい子どもの気持ちを理解していきます。また、他の職員

と子どもの気持ちを共有することで生活の支援にも反映させていきます。

仕事をしていて、印象に残っているエピソードや嬉しかったことは？

子どもたちは、大人に自分の親を重ねることが多く、特に虐待を受けている場合は、最初はとても警戒しています。話しかけても全く反応しない子どもが、一緒に遊んだりする中で、次第に自分自身の気持ちをいろいろな形で表現してくれるようになることや、自分自身の気持ちに気づいてくれることにやりがいを感じます。

仕事をする上で大切にしていることや今後の目標など

「子どもから学ぶ」ということを大切にしています。子どもの行動には必ず子どもなりの理由があります。今後も、子どもの気持ちを代弁していきたいと思えますし、子ども自身が自分のことを考えていける基盤を作っていきたいです。

【施設名】 児童養護施設玉島学園
【住 所】 倉敷市玉島長尾3729
【TEL】086-525-2020



機関紙「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会 広報班
■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は
商品の発送をもってかえさせて
いただきます。

